

わたしの 妊娠報告書

記載日 年 月 日

おめでた宣言日	2007	年	5	月
年齢 (34) 歳	平成 (13) 年 (9) 月	結婚		
私は (体外受精)				で妊娠しました。

不妊治療歴	(3) 年 (6) ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="checkbox"/> あり → 内容 ()
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (10) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精 (5) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 (3) 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

一番は精神的に暗くなりやちな日々だったので、いかに日常の夫との生活をあだやかに過ごせるかをバヤけました。2人の生活の中で学んだことは大変多く、これから家族が増える過程で大切な基盤になると思います。他には物理的な面で足元を冷やさないように注意したことや葉酸をとるようにしたことがあります。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦勞話し

治療内容

肉体的な痛みは一時的なものなので、いくらでも耐えられるのですが精神的に追いつまなくていくのが辛かったです。結果がでるわけないかが全てなので、時間が経過するにつれて自分自身を責めるようになってしまいました。今回、妊娠することになりましたが、受精卵の分割スピードが遅くて自分では半分以上あきらめていました。悪い方向に考えてしまう傾向にあり、夫や中山先生の励ましがなければ続けられなかったと思います。

その他 (通院・治療費・家族など)

精神的に追いつまざる要因のひとつに治療費の問題があると思います。特に体外に進んでからは、治療費に見合う結果が出せるのか悩みました。結局、最後は夫との子どもを授けてもらえる可能性があるのなら、そこにかけたという一歩だったような気がします。

治療中の方へのアドバイス

不妊治療はこうすれば結果がでるといような単純なものではなく長い時間と精神的な負担がかかります。それを避けることはできませんが、いつか希望が叶う日が来ることを信じて日々の生活を大切にしてください。

スタッフへのご意見など

中山先生や看護師さん、受付の皆さん、ASKAに関わるすべての方が優しく思いやり深く接して下さったので長い治療も続けることができたのだと思います。心から感謝しています。診察時間も長い精神的にもしんどいお仕事だと思いますが、一人でも多くの方が喜びを得られますように願っています。